

山陰海岸ジオパークの実際とガイド活動の展開

-兵庫県豊岡市に着目して-

玉脇 健太

キーワード：ツーリズム、ジオストーリー、豊岡市、ガイド活動、人づくり

1. はじめに

2004（平成16）年、世界ジオパークネットワーク（Global Geoparks Network, =GGN, 以下GGN）が設立されて以降、ジオパークに関する活動が具体的に取組まれるようになった。2015（平成27）年にはUNESCOが支援する側であった世界ジオパークの活動がUNESCOの正式事業として決定された。今後より一層ジオパークに関する活動は活性化することが予想される。しかしジオパークに対する興味・関心や認識はいまだ十分とは言えない。こうした現状のなか、ジオパークにおけるツーリズムの役割に着目することは、ジオパークに対する興味・関心や認識を深めるうえで重要な視点であると考えられる。

本研究では、ジオパークにおいて展開されるツーリズム、とりわけガイド活動に着目し、ガイド活動の地域的展開を明らかにすることを目的とする。対象として、ユネスコ世界ジオパークに認定されている山陰海岸ジオパークを選定し、兵庫県豊岡市のエリアに着目して研究を進める。

まずGGN(2010)をはじめ、ジオパークに関する文献・論文を調査し、ジオパークの概要を整理する。また、ジオパークにおけるツーリズムに着目し、ジオツーリズムやガイド活動について示す。次に研究対象地域である豊岡市の地誌を作成し、豊岡市の地域性を示す。最後に兵庫県豊岡市にエリアを有する山陰海岸ジオパークに着目する。山陰海岸ジオパークのWebページなどから情報を収集し、ガイド養成の現状やガイド活動の展開について示す。ここでは、実際のガイド数やガイド活動の内容に関する表を作成し、その実態について考察する。

2. ジオパークとツーリズム

GGN(2010, p. 1)によると、「ジオパーク構想とはユネスコの支援を受けながら、地域の社会経済的、文化的発展と、重要な地質遺産の保護を、環境保護対策をとることで両立させようというもの」であり、「1972年の世界遺産条約に新たな一面を付け加えるもの」である。理念として「地域の社会経済的、文化的発展」と「重要な地質遺産の保護」の両立が掲げられている。

ジオパークは、地球の地史や地質現象がよくわかる地質遺産、考古学的・生態学的・文化化学的に価値あるサイトを対象としている。大野(2011, p. 834)は、「人間社会は多くの場合、その土地ならではの自然環境に大きく影響を受け、それが固有の歴史や文化、伝統を生み出す。したがってジオパークは、単に、地球科学的に重要なサイトだけにとどまらず、地域固有の自然環境を利用して育まれた人々の歴史、文化、伝統も見どころの対象に含む」と述べている。ジオパークの見どころは「ジオサイト」に指定され、教育やジオツーリズムを中心とした観光に活用される。

2016（平成28）年現在、日本においては43地域が日本ジオパークネットワークに加盟し、日本ジオパークに認定されている。そのうち、島原半島、糸魚川、洞爺湖有珠山、山陰海岸、室戸、隠岐、阿蘇、アポイ岳の8地域はGGNに加盟し、ユネスコ世界ジオパーク

に認定されている。

深見（2014，p.29）によると，ジオパークを観光資源として扱う際，「地学・自然地理学は専門用語の多さや地質時間の時代スケールが難解というイメージが一般的に定着している」ことが課題である。そのため，ジオパークを観光資源として扱い，ジオパークをフィールドとしたツーリズムを展開するにあたっては，こうした課題を払拭することが必要である。そこで，単にジオサイトについて羅列的に解説するのではなく，ジオサイトに関連する地域の気候，生態系，歴史，文化，伝統，産業などを相互に関連付け，ストーリー性をもたせた「ジオストーリー」を用いることが有効である。ジオストーリーの語り手として，豊富な知識や経験をもつ地域住民が「ガイド」を務めることで，人々にジオパークの魅力をより伝えることができると考えられる。

3. 研究対象地域の概要

研究対象地域である兵庫県豊岡市は，兵庫県北部但馬地域（豊岡市・朝来市・養父市・香美町・新温泉町）に属しており，豊岡，城崎，竹野，日高，出石，但東の6つの地域に分けられる（図1）。

豊岡市は日本海岸気候に属し，冬季には豊富な降雪量に見舞われる。「弁当忘れても傘忘れるな」と言われるほど降水量が多い。山陰海岸国立公園をはじめ，氷ノ山後山那岐山国定公園，但馬山岳自然公園，出石糸井県立自然公園に指定されるなど自然が豊かである。市域には国指定天然記念物であるコウノトリやオオサンショウウオが生息している。コウノトリの野生復帰に取り組んでおり，中干延期，深水管理，冬季湛水などの工夫を凝らした無農薬・減農薬の稲作や休耕田を利用したビオトープ水田などが実施されている。市域の中央部を南北に1級河川の円山川が流れており，下流域の中洲や河川敷には，豊岡市の伝統工芸の杞柳産業の原料であるコリヤナギが自生している。

「市区町別主要統計指標 平成28年版」によると，2015（平成27）年現在，豊岡市の人口は82,250人である。年齢ごとの人口割合を見ると，14歳以下が13.9%，15歳から64歳が57.9%，65歳以上が28.2%であり，少子高齢社会である。豊岡市の市町内総生産は2,789億5,000万円である。内訳は，第1次産業が64億5,900万円，第2次産業が618億7,200万円，第3次産業が2,085億3,300万円である。市町内総生産は但馬地域全体の約5割を占めており，第1次産業総生産，第2次産業総生産，第3次産業総生産共に但馬地域で最も高い額となっている。主要な産業は靴産業である。豊岡市でつくられた靴のうち，兵庫県靴工業組合が定めた基準を満たす企業によって生産され，審査に合格した製品は「豊岡靴」として認定される。1965（昭和40）年，兵庫県靴工業組合が設立され，2015（平成27）年現在，66の事業所が認定されている。兵庫県靴工業組合では，集積活性化事業・デザイン・IT関連・市場調査事業などを行っており，2006（平成18）年には，日本で最初の靴部門の地域団体商標として，「豊岡靴」が商標登録された。豊岡市内の宵田商店街通りは，「カバンストリート」呼ばれている。

「平成26年度 兵庫県観光客動態調査」では，但馬地域の主要観光地として11の観光地が挙げられている（表1）。その内城崎温泉，出石町内鑑賞，コウノトリ文化館，神鍋高原，竹野海水浴場，玄武洞公園の6の観光地が豊岡市にある。入込客数は，城崎温泉が87万6千人，出石町内鑑賞が31万5千人，コウノトリ文化館が29万7千人，神鍋高原が24万6千人，竹野海水浴場が17万9千人，玄武洞公園が17万8千人である。これらの観光地はいずれも山陰海岸ジオパークのサイトに含まれている。



図1 豊岡市の地域区分

表1 2014（平成26）年度の但馬地域における主要観光地への入込客数

市町名	観光地名	入込客数(千人)
豊岡市	城崎温泉	876
朝来市	竹田城跡	582
新温泉町	湯村温泉	404
豊岡市	出石町内鑑賞	315
豊岡市	コウノトリ文化館	297
香美町	余部橋梁	276
豊岡市	神鍋高原	246
新温泉町	県立牧場公園	193
豊岡市	竹野海水浴場	179
豊岡市	玄武洞公園	178
朝来市	立雲峡	46

出所:「平成26年度 兵庫県観光客動態調査」より作成

4. 山陰海岸ジオパークにおけるガイド養成

山陰海岸ジオパークのガイドは、第1種山陰海岸ジオパークガイド（以下1種ガイド）と第2種山陰海岸ジオパークガイド（以下2種ガイド）に分けられる。1種ガイドは、山陰海岸ジオパーク内の特定のジオサイトについて案内ができるほか、ジオパーク制度の理念、概要及び山陰海岸ジオパークのテーマ、概要を説明することができ、かつ接遇、危機管理、自然保護に関する一定の知識を有するガイドである。一方2種ガイドは、1種ガイドとしての能力に加え、山陰海岸ジオパークに関して深い知識を有し、山陰海岸ジオパークを代表するガイドとして全国大会等において活躍するガイドである。熊谷(2015, p. 12)は、「初心者向けの1種とエキスパート向けの2種」と表現している。

1種ガイド認定の条件は「山陰海岸ジオパーク養成講座(以下、養成講座と示す)の内容をすべて受講していること」、「保険に加入していること」、「推進協議会が登録するガイド団体に登録していること」の3点である。2種ガイドの認定条件は「申請の時点で1種ガイドであること」、「ガイド活動を行っている市町から推薦を得ること」、「推進協議会が実施する2種ガイド認定試験(筆記、実技、面接)に合格すること」の3点である。ガイド認定の有効期限は3年間である。更新には、実績を得点化した点数が15点以上あることが必要である。

山陰海岸ジオパークでは、2013（平成25）年から2016（平成26）年にかけて、養成講座・更新要件スキルアップ講座が21回実施されている。またジオパークガイド継続教育制度が実施されている。これは、ガイド更新要件ポイントが付与されるものとして推進協議会が認定した講座である。2014（平成26）年度には6回、2015（平成27）年度には25回の講座が実施されている。養成講座・更新要件スキルアップ講座のうち、参加人数が把握できている講座についてまとめたものが表2である。参加者数を見ると、講座を受講し、ガイド資格の取得または更新をすることで、主体的にジオパークの活動や地域に貢献しようとする人々が確かに存在することが明らかである。山陰海岸ジオパークでは、ガイド養成やガイドの継続性を高めるための取り組みが進められている。

山陰海岸ジオパークにおけるガイド数についてまとめたものが表3である。山陰海岸ジオパークでは、1種ガイド122人、2種ガイド17人、計139人のガイドが認定されている（一部重複を含む）。豊岡市のガイド養成の現状として、ガイド団体が多いにもかかわらず、

ガイド数が少ないことが分かる。山陰海岸ジオパークにおける登録ガイド団体のうち、豊岡市のNPO法人神鍋自然学校と海と空と人の2団体のみ1種ガイドの人数が0人であることから、豊岡市では特に1種ガイドの養成に力を入れる必要があると考えられる。

表2 山陰海岸ジオパークにおける養成講座・更新要件スキルアップ講座の参加人数

年度	元号	講座名	日程数(日)	参加人数(人)	備考
2013	平成25	鳥取市ガイド養成講座	3	76	全3回延べ人数
		平成25年度山陰海岸ジオパークガイド(1種)養成講座	1	26	
		新温泉町ジオパークガイド研修会	7	140	全7回延べ人数
		香美町ジオパークガイド養成講習会	5	10	全日程参加人数
2014	平成26	鳥取市ガイド養成講座	5	57	全5回延べ人数
		新温泉町ジオパークガイド研修会	9	261	全9回延べ人数
		平成26年度山陰海岸ジオパークガイド認定講習会IN豊岡	1	22	
2015	平成27	新温泉町ジオパークガイド研修会	8	144	全8回延べ人数
		香美町ジオパークガイド養成講座	5	5	全日程参加人数
		鳥取市ガイド養成講座	5	96	全5回延べ人数
		平成27年度山陰海岸ジオパークガイド研修会IN豊岡	2	29	全日程参加人数
2016	平成28	山陰海岸ジオパークガイド基礎講習&養成講座	1	21	
		香美町ジオパークガイド養成講座	3	4	全日程参加人数

出所：山陰海岸推進協議会資料より作成

表3 山陰海岸ジオパークにおけるガイド数

府県	市町	団体名(団体コード順)	1種ガイド(人)	2種ガイド(人)
京都府	京丹後市	NPO法人まちづくりサポートセンター	18	1
		琴引き浜ガイド「シンクロ」	9	2
兵庫県	豊岡市	NPO法人玄武洞ガイドクラブ	5	2
		日和山海岸ガイドセンター	2	0
		NPO法人かんなべ自然学校	0	1
		たけの観光協会	2	0
		海と空と森と人	0	0
		日高神鍋観光協会(登録準備中)	6	1
		香美町	香住ダイビングサービス	1
NPO法人たじま海の学校	6	1		
遊覧船かすみ丸有限会社	1	0		
うづかの森(株式会社西村工務店)	3	0		
小代ガイドクラブ	3	0		
新温泉町	新温泉町	新温泉町ジオパークネットワーク	16	3
		朝野家ジオガイド	16	1
鳥取県	鳥取市	とっとり観光友の会	2	0
		鳥取砂丘ジオパークセンター	3	1
		NPO法人とっとり観光ガイドセンター	3	1
		ヤサホーガイドの会	6	0
		大堤うぐい突き保存会	4	0
岩美町	岩美町	いわみガイドクラブ	13	2
		山陰松島遊覧株式会社	3	0
総計			122	17

出所：山陰海岸ジオパーク推進協議会資料より作成

5. 山陰海岸ジオパークにおけるガイド活動

豊岡市におけるガイド活動の展開についてまとめたものが表4である。豊岡市には、平野部を中心とする円山川エリア、海岸部を中心とする竹野海岸エリア、高原部を中心とする神鍋高原エリアがある。円山川エリアでは、NPO法人玄武洞ガイドクラブ、海と森と人の2団体がガイド活動をしている。竹野海岸エリアでは、竹野観光協会、北前館の2団体がガイド活動をしている。神鍋高原エリアでは、NPO法人かんなべ自然学校、日高神鍋観光協会の2団体がガイド活動をしている。活動内容を分類すると、市街地のまちあるきやジオサイトの散策を中心とするガイド活動と、自然体験を中心とするガイド活動に分けることができる。前者には、NPO法人玄武洞ガイドクラブが実施する玄武洞公園ガイド、豊岡市街地街並みガイド、海と森と人が実施する街歩きのガイド、竹野観光協会、北前館、日高神鍋観光協会が実施するガイド活動が該当する。後者には、海と森と人が実施するカヤックでのガイド、NPO法人かんなべ自然学校が実施するガイド活動が該当する。

まちあるきや散策を中心とするガイド活動では、ジオサイトの解説を受けるだけでなく、ジオサイトに関連する地域の気候、生態系、歴史、文化、伝統、産業といった地域の特性について知ることができるよう設定されている。例えば玄武洞公園ガイドは、柱状節理や玄武洞の由来、洞穴の成り立ちといったジオサイトの地学的な価値について解説をするだけでなく、玄武岩を利用した人々の暮らしや、玄武洞周辺の生物などジオサイトに関連する地域の文化や生態系などについても解説をしている。カヤック、ツリーイング、トレッキング、スノーシューのように自然体験を中心とするガイド活動には、海岸部や高原部の地形や気候の特徴が活かされている。

ガイド活動を体験することで、参加者は地域の様々な特性を知り、地域に対する理解を深めることができる。それゆえガイド活動は、観光客だけでなく、地域住民にとっても魅力的なものであると言える。

表4 豊岡市のエリアにおけるガイド活動

エリア	円山川エリア	竹野海岸エリア	神鍋高原エリア			
ガイド団体	NPO法人玄武洞ガイドクラブ	海と森と人	竹野観光協会	北前館	NPO法人かんなべ自然学校	日高神鍋観光協会
ガイド場所	玄武洞公園・豊岡市街地	竹野町・城崎周辺・円山川下流域・玄武洞水域	竹野海岸・竹野浜	竹野海岸	神鍋高原全域・阿蘇渓谷	神鍋高原
ガイド内容	<ul style="list-style-type: none"> 玄武洞公園ガイド 玄武岩の柱状節理 玄武洞の由来 洞穴の成り立ち 玄武岩を利用した人々の暮らしとの関わり 玄武洞周辺の地形・地質と人の関わり 玄武洞の学術的な活用と地磁気逆転説の発見 周辺の生物 玄武岩の「玄武さん」について 豊岡市街地・町並みガイド <ul style="list-style-type: none"> 城下町豊岡の歴史 北但震災復興建築群と近代化 建築群 柳行季から豊岡産産への変革 	<ul style="list-style-type: none"> 街歩きでのガイド 平家落人伝説が残る里山集落の歴史伝説 竹野町宇日の見所(小石の浜、船小屋、千畳、三柱神社、柱状節理と水田跡、亀と鮎の供養碑、人々の暮らし今昔) カヤックでのガイド 竹野町宇井集落発のカヤックツアー 城崎温泉近郊の水辺発の玄武洞ツアー(上陸後は玄武洞見学が可能) 	<ul style="list-style-type: none"> 竹野海岸ジオパークコース 日本海誕生の歴史 地層・地質・洞穴・足跡化石や竹野の自然 竹浜の歴史・文化コース 鷹野神社や興長寺等の寺社仏閣 板垣の街並み・路地 竹野浜の霊場めぐりコース 江戸時代に建立された西園三十三ヶ所観音石造 	<ul style="list-style-type: none"> 竹野浜 海岸道路 瑞先半島 兵庫県最北端の地 北前船交流の歴史 誕生の碑、楽葉山の碑 但馬海岸の地質 はさかり岬、波の洞門 日本海の地形と漁業 リュウグウノツカイ 平家落人伝説 但馬の産業 	<ul style="list-style-type: none"> ツリーイング スノーシュー トレッキング キャンプ 	<ul style="list-style-type: none"> 神鍋産噴火口散策コース 噴火ロヤ、山野草、洞穴の散策 溶岩流散策演習コース 神鍋山噴火の際の溶岩流が作り出した独特の岩肌の見学
所要時間	<ul style="list-style-type: none"> 玄武洞公園ガイド 2測案内 約30分 5測案内 約60分 豊岡市街地・町並み <ul style="list-style-type: none"> 豊岡駅前～豊岡1925 約120分 	<ul style="list-style-type: none"> 街歩きガイド ・約120分 カヤックガイド ・約120分 	・各コース約90分	・約60～120分	・1時間～2日	各コース約150分
料金	玄武洞公園ガイド(個人) <ul style="list-style-type: none"> 2測案内 1名300円 5測案内 1名500円 (団体) <ul style="list-style-type: none"> 2測案内 16～39名 1名270円 40名以上 1名240円 5測案内 16～39名 1名450円 40名以上 1名400円 豊岡市街地・町並み <ul style="list-style-type: none"> (個人・団体) 1名500円 	<ul style="list-style-type: none"> 街歩きガイド ・5名以下 1律2500円 ・6名以上 人数×500円 カヤックガイド ・5000円 	9名以下 3000円 10名以上 5000円	ガイド1名につき 5000円	<ul style="list-style-type: none"> ツリーイング 大人 1名 7000円 小人 1名 5500円 トレッキング 大人 1名 6000円 小人 1名 4500円 スノーシュー 大人 1名 4500円 小人 1名 3500円 キャンプ 大人 1名 14000円 小人 1名 7500円 	<ul style="list-style-type: none"> 1グループ(6名以下) 2000円 ・7名以上 1名ごとに300円追加

出所：山陰海岸ジオパーク Web ページより筆者作成

6. おわりに

山陰海岸ジオパークでは、養成講座・更新要件スキルアップ講座が開講され、ガイドの養成やガイドの継続性を維持するための取り組みが進められている。2016（平成28）年9月現在、1種ガイド122人、2種ガイド17人が認定されている（一部重複を含む）。こうした講座を受講し、ジオパークや地域に貢献しようとする人々が確かに存在することが分かった。しかし豊岡市のガイド養成の現状として、ガイド団体は多いが、ガイド数は少なく、特に1種ガイドの養成が課題であることも分かった。筆者自身も1度、豊岡市で実施された養成講座に参加したが、比較的年配の参加者が多く、若年層の参加はあまり見受けられなかった。ガイド養成の今後の発展について考えると、若年層への普及活動を実施し、青年ガイドを育成することも重要な課題である。

ガイド活動に参加することで、人々は地域に対する理解を深めることができる。そのためガイド活動は観光客だけでなく、地域住民にとっても魅力的なものである。地域の子どもの対象とした教育用のジオツアーや体験プログラムを構成することも可能である。学校教育機関とジオパークとの連携にも注目したい。

こうしたガイド活動の魅力を観光客や地域住民に対して発信するためにも、市や推進協議会が一体となって今後ともPR活動に力を入れる必要がある。豊岡市のエリアで実施されるガイド活動がすべて有償であることから、ガイド活動の参加者からは、魅力的なガイド活動が求められることが予想される。より一層ガイド活動を活性化させるためにも、継続的に「人づくり」に努めることが重要である。

引用文献

- グローバルジオパークネットワーク（2010）：「各国のジオパークがユネスコの支援を得て世界ジオパークネットワーク（GGN）に参加するためのガイドラインと基準」, pp1-13.
- Global Geoparks Network（2010）：「United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization Organisation des Nations Unies pour l'éducation, la science et la culture」
- 大野希一（2011）：「大地の遺産を用いた地域振興—島原半島ジオパークにおけるジオストーリーの例—」, 地学雑誌 120（5）, pp.834-843.
- 熊谷暢明（2015）：「山陰海岸ジオパークにおける活動の発達段階と課題」, ジオパークと地域資源, pp. 7-14.
- 深見聡（2014）：『ジオツーリズムとエコツーリズム』, 古今書院, 197p.

参考 URL

- 山陰海岸ジオパーク Web ページ
<http://sanin-geo.jp/>（2017年1月16日閲覧）
- 「市区町別主要統計指標 平成28年版」, 兵庫県 Web ページ
https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr15/ie15_000000005.html
（2017年2月9日閲覧）
- 「平成26年度 兵庫県観光客動態調査報告書」, 兵庫県 Web ページ
https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr15/ie15_000000005.html
（2017年2月9日閲覧）

Geography of San'in Coast Geopark Area and
Development of Guide Activities

—Focusing on Toyooka City, Hyogo Prefecture—

TAMAWAKI Kenta

Key Words: tourism, geostory , Toyooka city, guide activities, human resource development